

公明党議員団

林 光仁・池田 謙次・藤田 広美
 神山哲太郎・大西 厚子

代表質問 (抜粋)

【林 光仁 議員】

「一億総活躍社会」の苦小牧の現状について質し、就業率は30代以降の女性・60歳以上の男女は、全国・全道を下回っていると答弁がありました。「財政健全化」について、本市の固定資産台帳で、老朽化比率を示し活用すべきと求め、国の基準が示された段階で活用を進めると答弁がありました。「ふくし大作戦」で、手話言語条例化について質し、条例制定についての理解が広がるよう、ふくし大作戦事業を着実に実行していくと答弁がありました。「がん全般の対策計画・条例」の策定を求め、30年度の健康増進計画改定時に踏み込んだ内容にする必要があると答弁がありました。「消費者被害防止を目的とする条例」の策定を求め、29年度を目的に消費者教育推進計画の策定を進めると答弁がありました。他、「緑跨線橋の架け替え工事」について、「ワークスポット(求人休職サイト)の機能強化」等について質問しました。



一般会計予算委員会 (抜粋)

【神山 哲太郎 議員】

「公共施設のWiFi環境の整備」について本庁舎12階の展望回廊や科学センターに導入することを提案しました。「ふるさと納税」について利用の拡大をはかるためクレジットカードでの納税を提案しました。「市民後見センターの開設等」について5月の連休明けに開設の予定で、今後は、市民周知に努めるとの答弁がありました。「夜間・休日急病センター」について診療科目、時間等について再度、市民周知するよう求めました。「学校周辺の交通安全対策」について25年度から取り組んできた事業の有効性から出来るだけ早く他地域も行いたいとの答弁がありました。その他「市営住宅」、「職員給与」等について質問しました。



企業会計予算委員会 (抜粋)

【藤田 広美 議員】

国保の「各種ドック事業の定数枠の拡大」を求め、申し込み

数を見て、拡大を判断すると答弁がありました。「認知症対策の充実」について質し、ほつとカフェは12箇所に拡大。行方不明対策にステッカーの配布。SNSネットワークの事前登録者に試行的にシールを配布。認知症サポーターは、28年度1500人、29年度1800人を目指すと答弁がありました。市立病院の「がん緩和ケアの充実」と「がん患者サロンの充実及び常設化」を求め、外来看護師に緩和ケア教育を進め充実させたい。がん患者サロンは、12回に拡大すると答弁。常設化は院内の狭隘化の解消のため増設を含めた検討を求めました。その他、「高丘霊園」の区画分譲のコンパクト化を求めました。



【大西 厚子 議員】

「特定健診の受診率向上」について、通院治療中の方への優先的な受診勧奨や、実施医療機関内での受診予約の



勸奨について提案しました。関係機関と連携し、かかりつけ医から受診を促せる工夫に努めていきたいと答弁がありました。「大雨対策3か年事業」について、工事の内容・スケジュール・効果・大雨時のトイレの排水対策等を質し、市民周知を求めました。市立病院の「退院支援」について、これまでの取り組みと、30年度設置予定の「入退院支援センター」について質し、医療ソーシャルワーカーの増員を要望しました。その他「保健事業」、「特定保健指導」等について質問しました。

【池田 謙次 議長】

第5回定例会が、皆様のご協力のもと無事に終了し、心から御礼申し上げます。新年度予算審議も、市民の皆様様の血税を無駄にさせず、最も価値的に効率よく執行されるようにとの、議員各位の白熱した質疑に感謝いたします。



今後市民の皆様のため、地域の発展のため、苦小牧市議会、一丸となり取り組んで参りますので何卒よろしくお願ひ申し上げます。